

# むくのきだより 3月号



令和6年2月29日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

## 自信をつけて新しい世界へ

園長 中村 美奈子

「風がビュービューだね!」「大風だ!」2月27日の「お別れ遠足」で東京タワーへ歩いていく途中、手をつないだ年長ゆり組の子供と年少さくら組の子供が話していました。風の冷たさと日差し  
の暖かさを感じながら、子供たちはどんどん歩いていきます。「東京タワーが大きくなった!」「違  
うよ、近くなったんだよ!」いろいろなことを話している子供たち。東京タワーの前の交差点では、黒  
いスーツの人たちがたくさんいて、「撮影中なので待ってください。」と言われてしばらく待つこと  
になりました。「あ、逃走中だ!」「えっ、何?」「あのね・・・」知っている子が教えていました。「待つて  
くれて、ありがとうね。今のうちに渡ってください。」と言われ、撮影ポイントに戻る黒いスーツの人  
たちに続いて、手を挙げて交差点を渡りました。その後、東京タワーに上ると快晴の空が広がり遠くま  
でよく見渡せました。「スカイツリーが見えるよ。」「富士山だ。」「ぼくのおうちも見えるかな?」と、話  
す子供たち。地上を見下ろせるガラス越しに「あっ、逃走中の人が見えた!」「どこ、どこ?」「あの木の  
所。」と、会話も弾んでいました。東京タワーを下りて、年長ゆり組と年少さくら組の子供たちで一緒  
に、お弁当を食べたり、公園で体を使うゲームをしたりしました。いつも見ている東京タワーが、特  
別な思い出の場所になりました。

赤羽幼稚園では、日頃から年長ゆり組と年少さくら組の子供たちが、一緒に遊び、関わることを互  
いに成長する機会と捉え、大切にしています。今、修了・進級に向けて、年長ゆり組から年少さくら組  
へ、「大切なお仕事」の引継ぎをしています。当番活動では、もるくん(モルモット)やりこくん(カメ)  
のお世話など、やり方を見せながら丁寧に優しく教えています。2月の誕生会の司会も、言葉やお辞  
儀の仕方など、一緒にやりながら教えていました。年長ゆり組の子供たちは、教えることで自分がで  
きるようになったことを自覚し、自信を深めた様子です。一方、年少さくら組の子供たちは、お姉さ  
ん・お兄さんだけがしていたことをやれることになりうれしい様子です。こうして毎年、子供から子  
供へと引き継がれる経験が、それぞれを一段と成長させることにつながっていると感じます。3月1  
日の誕生会は、さくら組の子供たちが司会をして進めます。手作りのお雛様とゆり組の子供たちに  
見守られて、さくら組の子供たちが、お姉さん・お兄さんになる準備を始めま

年長ゆり組の子供たちが赤羽幼稚園を修了する日まで、あとわずか  
となりました。一日一日を大切に、子供たちが自信をつけて新しい世  
界~小学校・年長~へ進学・進級できるように、過ごしていきたいと思  
います。今年度も保護者や地域の皆様には、本園の教育活動にご協力  
いただき、ありがとうございました。心より感謝を申し上げます。

